



南極ものがたり

No.7



◆ 艦上体育

「艦上体育を許可する」艦内放送が流れました。今日は海も比較的穏やかで、何より天気が抜群に良い日でした。艦上体育とは、01甲板（飛行甲板）上で、運動不足を解消するため、隊員・乗組員が思い思いの運動をするものです。仕事に支障がない隊員がキャッチボールやランニングに汗を流しました。360°見渡す限り海の真っ只中で体を動かすのは格別でした。



2015.12.8.

荒天の時は、「艦上体育は艦内でえ」という放送が入ります。右の赤シャツの男はいったい誰？

◆ JARE57 隊員紹介

高村 友海 (35) モニタリング観測 出身地：神奈川県

国立極地研究所 南極観測センター 第54・56次夏隊

海洋・船上観測のリーダー。地球規模の温暖化と海洋酸性化が南極海に与える影響を研究テーマとしている。南極海の基礎データはまだまだ少ないそうである。下記の観測データを蓄積・指標としてさらに研究を深めたいと考えている。高校時代は薬学部を志していた。残念ながら第一志望校が不合格となり、化学（環境化学）の道に進んだ。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」。高校の頃、南極へ行くことなどは考えたこともなかった。化学の道に進んだが故に、縁あって3回目の南極行きとなった。「今はとても楽しく充実した研究生活を送っています」とおっしゃっていました。



◆ 海洋観測

13時、海洋観測の第1回目（南緯40°）が始まりました。CTD採水、表面バケツ採水、ノルパックネットを実施しました。CTD採水は、停船後、採水器を深さ400mまで沈め、各深さでの海水を採取し、水温、塩分の観測の他、溶存CO₂濃度、栄養塩、クロロフィルaの濃度、プランクトンの検鏡用サンプルを取得します。行います。ノルパックネットは、いわゆるプランクトンネットであり、水深150mまで沈め、鉛直に引き上げてプランクトンを採取します。自衛隊の方々と隊員が協力し、スムーズにサンプルを得ることが出来ました。私もCTD採水のお手伝いができ、貴重な経験となりました。明日は、第2回目（南緯45°）の観測が行われます。



CTD 海洋投入



CTD 採水



ノルパックネット



プランクトン採取

◆ 南極トリビア

しらせ恒例の南極新聞社主催「冰山初視認時刻当てクイズ」の投票が始まりました。今年は、いつ初冰山を見ることができるでしょうか。

結果は後ほど。皆さんも考えてみてください。



2015.12.8.



プランクトン

2015.12.8.